

仏様はなぜ肩？

けんえんこうそう

21 肩円好相

仏像を描くときのコツ

はと聞かれたら、それは肩

を丸く書くことかもしれません。それだけインパクトがあります。

私の肩は骨が角ばっており、ラグビーのタックルの練習で、よく人に骨が当たって痛いと言われました。肩が丸いということは、人を傷つけないことを表しているようです。

また、肩は心理状況が反映しやすく、緊張する時などは肩が上がっています。リラックスするときはずっと肩の力を抜くように言われます。カープの前田健太投手が投げる前に肩の力を抜く動作

をしているのはこのためです。

仏様の大きく丸い方は、相手を傷つけず、見るものの心を落ち着かせる働きがある、それが肩円好相です。



お寺のかえるが
花見をするため
目を真まほいた
若佐真

仏様の

三十二相

仏様には32の特徴があります。仏様のやさしさを少しづつご紹介です。

仏様は歯が命

しじゅうしせう

22 四十歯相

人の言葉ではつと気づ

かされることがあります。

自分では認めたくない部分や気づかない部分を指摘されることは、受け入れがたいことでありますが、そういう人こそ大事にしなければならぬのかもしれない。

今回の四十歯相。口を開いた仏様のお姿はなかなかお目にかかることはありませんが、源信和尚の『往生要集』によれば、「四十の歯は、大きさが等しく、清く、隙間が無く、根がしっかりとしていて抜けることはない。その歯の白い事は白雪のようで、常に光り輝き、人々の眼に真実を届ける」とあります。

歯を見せる時は、話しをする時。仏

様が我が身の有様に気づかない人々に、その光で照らし出し、ナビで案内をするように、真実の道へと誘うのが四十歯相です

